



年 組 名前

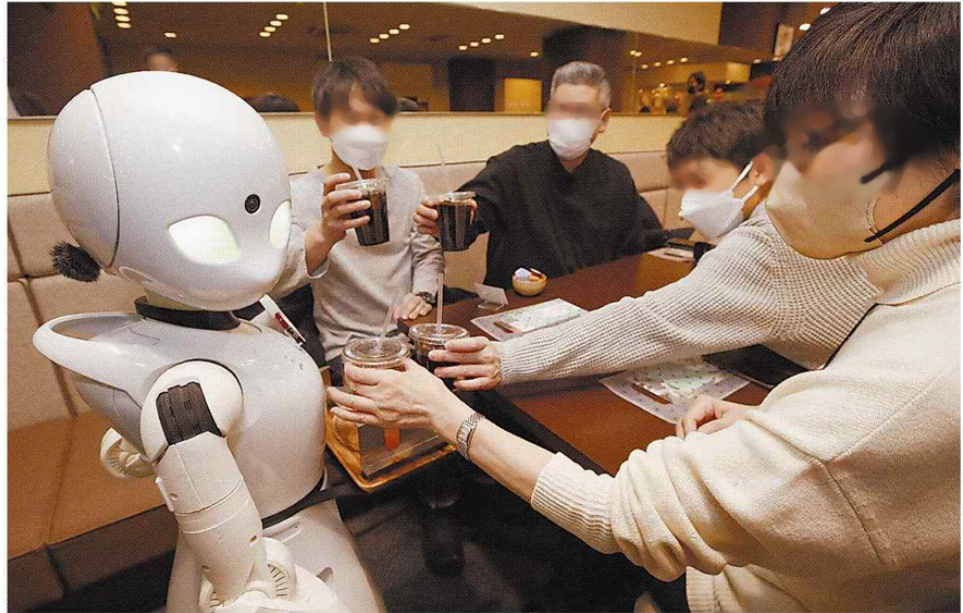
道新でワークシート

障害者の分身ロボット きょうからカフェ店員

障害者や移動困難者が自宅からロボットを遠隔操作し、店員として接客する「分身ロボットカフェ」が18日、札幌市中央区のリッチモンドホテル札幌大通（南2西

4）に期間限定でオープンする。障害者の就労機会創出が狙いで、ロボットを開発したオリイ研究所（東京）が地方で開設するのは福岡市に次いで2カ所目。17日

遠隔操作で接客 札幌で期間限定



飲み物を客席に運ぶ分身ロボット。客はロボットを介して会話を楽しんでいた（石川素子撮影）

は関係者向けの体験会が行われた。

同研究所は東京で常設のロボットカフェを運営している。操作は沖縄や東京などの28人のほか、札幌市内の特別支援学校の生徒5人も行う。店内では高さ約20センチの卓上ロボットが、連動するタブレット端末で写真を見せながら注文を受けた。り、会話をしたりしていた。高さ約1・2メートルのロボットは飲み物を客席まで運んだ。

接客した札幌市手稲区のAさん（50）は18歳の娘が脳性まひで介護が必要のため、外で働けない。Aさんは「外出が困難でも社会とつながることができると、自分の世界が広がった気がする」と話した。

営業は3月3日までの正午～午後8時。料金は75分2千円（食事とドリンク付き）。同研究所の公式サイトから事前予約が必要。

（伊藤駿）

2023年2月18日（土）朝刊 札幌市内版 15ページ（記事は再編集しています）

①「分身ロボット」はどのように使用されていますか、記事を参考に書きなさい。

②このような「分身ロボット」の使用により、どのような社会が実現できると思いますか、記事を参考に書きなさい。